

大崎小だより

11月号

令和8年10月30日

津山市立大崎小学校

津山市金井76

(0868-26-1314)

「できた!」の先にあるもの

朝夕の冷え込みに秋の深まりを感じる季節となりました。校庭の木々も少しずつ色づき始め、子どもたちを取り巻く自然も、季節の変化を知らせてくれています。

2学期も後半に入りました。11月は、これまでの学びを生かし、友達と力を合わせたり、自分の力を試したりする機会が多くあります。学校行事や日々の学習を通して、子どもたちの成長を実感できる時期でもあります。

学校行事では、結果だけでなく、そこに至るまでの過程を大切にしたいと考えています。「やってみよう」と一歩を踏み出すこと、友達と協力すること、思うようにいかなくても最後まで取り組むこと。その一つ一つが、子どもたちの大切な学びとなります。

そこで、保護者の皆様にもお願いがあります。

11月の行事や学習を終えたお子様に、「どうだった?」だけでなく、「どんなことを頑張ったの?」「友達とどんなことをしたの?」「できるようになったことはある?」と尋ねてみてください。

結果や出来栄だけではなく、努力したことや工夫したこと、友達と協力したことに目を向けていただければと思います。そして、「頑張ったね」「やってみたことがすばらしいね」と認めていただくことが、次の挑戦への大きな力になります。

子どもたちにとって、学校行事は一日で終わるものではありません。行事で経験したことを家庭で振り返り、認めてもらい、次の生活につなげていくことまでが大切な学びだと考えています。

大崎小学校が大切にしている、「**自分で考え、自分で決め、自分で行動する**」力も、こうした日々の小さな経験の積み重ねによって育っていきます。

「みんなで育てる 地域の子ども」

学校・家庭・地域がそれぞれの立場から子どもたちの頑張りを認め、励まし、支えていくことで、大崎っ子一人一人の「できた!」を、さらに増やしていきたいと思っています。

11月も、子どもたちの挑戦と成長を温かく見守っていただければ幸いです。

大崎っ子のみなさん。11月は、友達と力を合わせることを大切にしてください。そして、うまくいったときも、思うようにいかなかったときも、その経験を次の挑戦につなげていきましょう。「やってみよう」から始まる一歩が、みなさんの大きな成長につながります。

秋の深まりとともに、学校生活も一層充実していきます。学校・家庭・地域が力を合わせ、子どもたちの「できた!」と「やってみよう!」をたくさん育てていきたいと思っています。



☆海事研修 (5年生) ☆

海での活動や集団生活を通して、友達と協力することの大切さや、自分の役割を果たすことを学びました。

普段の学校生活とは違う環境の中で、声を掛け合いながら活動する子どもたち。さまざまな体験を通して、仲間との絆を深めるとともに、一人一人が成長する機会となりました。



☆校外学習 (1~4年生) ☆

学校を離れ、普段とは違う場所で、見たり、聞いたり、体験したりしながら、楽しく学びました。

友達と声を掛け合い、ルールや約束を守って行動することも大切な学びです。笑顔いっぱいの活動を通して、友達との仲もさらに深まりました。



11月の予定

1	日	
2	月	全校朝の会
3	火	文化の日
4	水	読み届け
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	学習発表会 予行
11	水	
12	木	
13	金	学習発表会前日準備、短⑤
14	土	学習発表会、短④
15	日	津山まるごとふれあい祭り 10:00~15:00
16	月	11/14 振替休業日
17	火	秋チェックプレテスト
18	水	朝ランニング
19	木	朝ランニング
20	金	朝ランニング 教職員が実践発表会参加のため短④
21	土	
22	日	
23	月	勤労感謝の日、収穫祭&マルシェ
24	火	朝ランニング
25	水	朝ランニング
26	木	朝ランニング ふれあい集会 10:35~12:00
27	金	朝ランニング、校外学習(5年生)
28	土	
29	日	
30	月	朝ランニング、委員会



☆大崎小学校ホームページアドレス☆

<http://www.schoolweb.ne.jp/tsuyama/ozaki-e/>



HP 二次元コード

学校と地域がともに子どもを育てる

～広島県府中市立栗生小学校を視察より～

10月15日(木)に、コミュニティ・スクール(CS)の先進的な取組を学ぶため、広島県府中市立栗生小学校を視察しました。

※栗生小学校は「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰(令和2年度)も受けています。

今回の視察の目的は、栗生小学校の先進的な取組を学び、大崎小学校のコミュニティ・スクール(CS大崎)を、より実効性のある取組へと発展させていくためのヒントを得ることでした。

栗生小学校では、学校・家庭・地域が「子どもを育てる」という共通の目標をもち、地域の方々が学習支援や体験活動など、さまざまな教育活動に関わっています。

学校と地域の学びをつなぐCSカフェ「ほっくり」も、その象徴的な取組の一つです。

今回の視察を通して強く感じたのは、コミュニティ・スクールは、学校が地域に「協力してもらう」仕組みではなく、学校・家庭・地域が子どもたちの成長を願い、それぞれの立場から一緒に学校をつくっていく仕組みであるということです。

大崎小学校でも、「みんなで育てる 地域の子ども」を合言葉に、CS大崎の活動を進めています。読み届けや学習支援、地域でのさまざまな体験活動など、多くの皆様に子どもたちを支えていただいています。

今回学んだことをそのまま取り入れるのではなく、大崎小学校と地域のよさを生かしながら、大崎ならではのコミュニティ・スクールの形を、保護者・地域の皆様とともにつくっていきたいと考えています。

これからも、子どもたちの「やってみたい」「学びたい」を、学校だけでなく地域の力で支えていける大崎小学校を目指していきます。

栗生小学校では、学校運営協議会を中心に、学校・家庭・地域が一緒になって、子どもたちの学びや成長を支えています。その具体的な取組を紹介します。

◆地域防災教育

地域の方と一緒に地域の危険箇所を確認し、安全マップを作成するなど、地域を知り、自分たちの命を守る学びにつなげています。過去には、地域住民・保護者・児童が一緒に登下校時の危険箇所を地図に書き込む活動も行われました。



◆地域の「ひと・もの・こと」を生かした学習

地域の企業見学・体験、家庭科の実習でのゲストティーチャーなど、地域の方の知識や経験を子どもたちの学習に生かしています。

◆地域行事への子どもたちの参加

地域の行事や「いきいきサロン」などに子どもたちが参加し、地域の方と交流しながら、ふるさとの文化や人とのつながりを学んでいます。

◆CSカフェ「ほっくり」

学校内に設けられた「ほっくり」は、学校と地域の学びをつなぐ活動拠点です。地域の方、保護者、卒業生、地元企業など、多くの方が関わり、学校と地域が交流する場となっています。

◆読書を通じた取組

全校で「1万冊」を目標とする読書推進活動にも取り組み、子どもたちの達成感や自己肯定感の向上につなげています。

これらの取組から感じたのは、コミュニティ・スクールとは、地域の方に学校を「手伝っていただく」だけの仕組みではないということです。

地域の「ひと・もの・こと」が子どもたちの学びになり、子どもたちの学びが地域の元気にもつながる。

このような学校と地域の双方向のつながりこそ、コミュニティ・スクールの大きな魅力だと感じました。

大崎小学校でも、「みんなで育てる 地域の子ども」を合言葉に、CS大崎の取組を進めています。

読み届けや学習支援、地域の方による学習サポートなど、すでに多くの地域の皆様に子どもたちの学びを支えていただいています。



今回の視察で学んだことを参考にしながら、大崎の地域性や人のつながりを生かした「大崎ならではのコミュニティ・スクール」を、保護者・地域の皆様と一緒につくっていきたいと思います。

子どもたちにとって、学校が「地域とつながる場所」であり、地域にとって、学校が「子どもたちとつながる場所」となるように。

これからも、皆様の力をお借りしながら、大崎っ子の学びと成長を支えていきます。

